

Victory

NO.5

令和2年7月
宮崎県立宮崎西高等学校
・附属中学校図書館

「夏休み」～今年で何度目になりますか？

その年ごとに作られる夏の思い出はいつしか記憶となり、「私」という存在を形作るカケラとして、一つまた一つと積もっていきます。今夏のカケラはどんな形・色として積もっていくのでしょうか。

そういえば、ようやく梅雨明けしましたね。

例年より14日遅れだそうです。夏到来ですね。暑さとそれからこの特異な状況に負けることなく、よい時間を作りましょう。



棚から一冊「夏だから…」

『夏物語』川上未映子著（文藝春秋）913.6カ

レモンを感じさせる爽やかな装丁とタイトルに惹かれページをめくった。『その人がどれくらいの貧乏だったか知りたいときは、育った家の窓の数を尋ねるのがてっとりばよい。』（引用）という書き出しに心をつかまれた。主人公・奈津子や姉の巻子をはじめ登場人物の抱える闇は深く重い。なのに、である。彼らの生き方はなんて清々しいのだろう。そうか、地に足つけて生きているということなのだ。「私らしく」生きることに、お手本はないのかもしれない。あなたはあなたらしく生きていますか？



授業との連携
：資料支援

『史記』～鴻門之会 司馬遷 高2古典B「漢文・史伝」



『教科書』は、優れた作品との最も身近な「出会いの場」。現在、司馬遷の「史記～鴻門之会」の関連図書コーナーを作っています。今回の展示は、「項羽と劉邦」二人の駆け引きを通してそこから広がる多角的な世界に気づいてほしいというコンセプトで作ってみました。

著者である司馬遷は、父の遺志を継ぎ、十数年の歳月をかけ「史記」全百三十巻を完成させます。歴史書ではありますが、「紀伝体」という記述様式で個人の伝記を中心に歴史が描かれています。様々な人物の描写も細かく、複雑な中にも読者を引きつけます。そう！『項羽と劉邦』といえば、司馬遼太郎。ぜひ、読んでみましょう。

●現代語訳●

『新釈漢文大系「史記」』（明治書院）

『史記〈本紀〉』（明治書院）

●歴史●

『司馬遷「史記の成立」』（清水書院）

『図説 史記の世界』（河出書房新社）

『ビジュアル百科世界史 1200人』（西東社）

●故事成句●

『故事と名言でつづる中国史』（集英社）

●文学（読み物として）●

『項羽と劉邦』司馬遼太郎著

『史記』横山光輝著（コミック）

『項羽と劉邦』横山光輝著（//）



*このほかにも展示しています。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。



この夏、あなたの眠れる才能を開花させるチャンス到来！

高1, 2年国語科「夏の創作課題」

西高 HP → 西高夏の創作課題 から各サイトにアクセス！！
募集要項や過去の受賞者の作品等見ることができます。

●短歌●

『若山牧水青春短歌大賞』

<http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/display.php?cont=190417090553>

●感想文●

①『第66回青少年読書感想文全国コンクール』

<https://www.j-sla.or.jp/contest/youngr/66kansoubun-youkou.html>

②『第40回全国高校生読書体験記コンクール』

http://www.hitotsubashi-bks.jp/pdf/dokusho_panf.pdf

●作文・小論文●

③『第53回産経「高校生文化大賞」』

http://www.sankeisquare.com/event/bunka_53/index.html

④『人権に関する作品』

<http://www.m-jinken.jp/modules/content002/index.php?id=317>

⑤『第22回高校生小論文コンクール』

<https://shogaiza.jp/contest/>

⑥『第22回全国高校生・留学生作文コンクール』

<https://www.koukouseishinbun.jp/articles/-/6362>

●創作●

⑦『第23回みやざき文学賞』

<https://www.miyazakigeibun.jp/news/miyazaki-literature-prize/2020/06/12/605/>

⑧『JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト』

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html>

⑨『第24回全国高校生創作コンテスト』

<https://compe.japandesign.ne.jp/koukouseishinbun-sousaku-2020/>

『第7回福岡女学院短歌コンクール』

https://tankasyo.koubodatabase.com/?page_id=3307



『新聞をどう読むか』：新聞活用法その2



今回は、「ジャンル」と「読み方」についてです。

ジャンル

「国際」「生活・暮らし」「経済」「文化」「スポーツ」「地域」「教育・科学」「オピニオン」等に分類されているのが一般的です。

各紙面の左右上端に記してあります。まずは、自分が興味のある紙面を探したら眺めてみましょう。

読み方：「5W1H」を見つける

基本的に、記事は「5W1H」で書かれているので「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どのように」「なぜ」を探しながら読むことで、文章の作りを理解することができます。気になる記事を選んで、切り抜き（あるいはコピーして）ノートに貼り、「5W1H」にラインを引きながら、ノートに書き出してみましょう。書かれている内容の理解につながります。同時に、社会の動きを知るきっかけにも。

今年の夏は、ぜひ
「新聞を読む時間」
を作りましょう。

〈この本読んどく？読ん得！〉

『新聞力』 齋藤隆著（ちくまプリマー新書）

2016年に出版された新書。「新聞とは」、「新聞活用術」、「新聞で身につく力」の視点で具体的な活用術も紹介されているので、即自分の学びに生かせる一冊。読むコツを掴め！

